

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



エゾビタキ
画・橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9
高田ビル 〒554-0012

TEL 06-6463-8003

FAX 06-6463-8202

oskougai@coast.ocn.ne.jp

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387



大阪から公害をなくす会
第29回定期総会
2008年5月29日

08年は京都議定書「約束年」のはじまり。有効な温室効果ガス削減の方策を冒頭に藤永さんが編集した、NASAゴダード宇宙研究所のジェームス・ハンセン博士の研究と訴えの「地球温暖化対策に挑む」のDVDが上映され、「CO₂の削減が今や政治・経済の

公害なくす会 第29回総会 08年度方針を確定

5月29日午後6時15分から大阪民医連会議室で開催された、「会」の第29回総会は39名の参加で、08年度の方針、予算を確定し、28人の新幹事を選出しました。

緊急課題であると、警鐘を乱打するハンセン博士の姿が参加者の関心をひきました。

大事な時に来ている、次世代に引き渡せる社会を。この1、2年が勝負のとき



第29回定期総会
2008年5月29日

開会あいさつに立った金谷副会長は「30数年前の黒田知事誕生の時のように、環境問題が住民の大きな関心事になってきている。公害をなくす会はこの地道に運動をしてきたが、このチャンスを生かして、次世代に引き渡せる社会のために奮闘し



第29回定期総会
2008年5月29日

公害のない大阪をめざして、様々な分野から8人が発言提案を受けて、吹田の御旅町の廃プラ中間施設の操業をやめ



第29回定期総会
2008年5月29日

へ。さらに、プラスチックの廃棄・処理に関する政策の確立の必要性など、公害のない大阪をめざして活発な討論となりました。

最後に藤永副会長が「今後の活動に活かしていく発言ばかりでした。公害のない大阪をめざして皆で運動していきましょう」との閉会挨拶で総会がしめく

ましよう。わたし達の力は大きくないがこの1、2年が勝負のとき」だと訴えました。活動が定着した1年。情勢にふさわしい運動と学習活動の発展を

08年度運動方針、決算・予算、役員体制が一括して芹沢会長から提案されました。芹沢会長は「07年の活動は一言でいえば、不十分さや困難を抱えながらも定着した1年でした」と述べました。08年度の活動の課題と方針部分では「地球温暖化対策や新しい喘息患者救済運動の動き、食の安全・安心や南海・東南海地震対策など公害・環境をとりまく情勢に触れながら」課題別活動の具体化を提起しました。

新婦人からは持続可能な社会をこどもたちに引き継ぐために環境家計簿の運動を提唱し、地球環境をまもる運動を活動の中心柱に据え、6月のNO₂測定も昨年の2倍取り組むとの発言。原爆症認定裁判の支援や橋下PT削減から35人学級を守る運動への協力の訴えもありました。

また、府職労からは、橋下知事の財政運営の手法がいかに府民生活をないがしろにし、環境・公害対策予算が削られていこうとしているかが明らかにされました。

させると運動、寝屋川の廃プラ工場の操業差し止め裁判の運動報告と訴えや、喘息患者が増えてくる実態のなかで新しい救済の運動が急務との発言が続きました。

「今後の活動に活かしていく発言ばかりでした。公害のない大阪をめざして皆で運動していきましょう」との閉会挨拶で総会がしめく

くられました。(中居)